

地域の食材を使った郷土料理教室の開催

事業実施主体：株式会社エヌケービー（東京都）

- 新型コロナウイルス感染症の流行によって、多くの人々が外出を控え、自宅での食事が増え、地域での共食の機会が減少した。また、家庭での食育の重要性は高まる一方で、子どもたちが地域の伝統的な料理や作法を体験する機会が減少した。
- 新型コロナウイルス感染症の収束により、消費者の生活は前向きな変化を遂げており、この状況を追い風と捉え、次世代を担う子どもたちに、自身の地域の伝統や農産物についての魅力を再認識させることを目的に、地域の食材を使った郷土料理等の料理教室を実施し、改めて子どもたちに対し、共食による食を通じたコミュニケーションを促し、食事がおいしく、楽しく感じられることを伝える共食の機会を提供した。

東京都



千代田区

【取組の内容】

- 地域の食材を使った郷土料理等の料理教室の開催
全国9地域（北海道、宮城県、山形県、東京都、静岡県、大阪府、兵庫県、福岡県、沖縄県）の子ども食堂や学習塾等の子どもたちに料理教室を実施。



（東京都での料理教室）



（沖縄県での料理教室）

料理教室の内容や成果を地方新聞社や特設ホームページ、アーカイブ配信などで発信。



（特設ホームページ）



（YouTube mogmogふるさとキッチン）

【取組の成果】

- 地域の食材を使った郷土料理等の料理教室の開催
地域にて継続的に郷土料理を作って教え、みんなで食べる共食の機会を作ることが、地域の食材や郷土料理について考えるきっかけとなり、各目標の達成につながった。

【事業の目標】

- ① 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えていく者の割合
事業実施前 70%
→事業実施後 96%
- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 75%
→事業実施後 94%

